

社会技術研究開発事業  
平成21年度研究開発実施報告書

研究開発プログラム「犯罪からの子どもの安全」

研究開発プロジェクト名

「子どものネット遊び場の危険回避、予防システムの開発」

下田博次

(特定非営利活動法人青少年メディア研究協会 理事長)

## 1. 研究開発プロジェクト名

子どものネット遊び場の危険回避、予防システムの開発

## 2. 研究開発実施の要約

### 研究開発目標

子どものインターネット利用について、見守り、注意し、指導することのできる能力＝ペアレンタルコントロール能力をもった人材の養成をめざす。

また、その種の人たちの市民活動を支援するための情報通信システム（CISS=Civil Instructor Support System）の開発・運用を行い、地域において子育て教育に関わる人たち（PTA、教員など）による子どものネット利用問題解決のための仕組みづくりを進める。

### 実施項目・内容

- A) CISS2版、3版の開発
- B) 高崎市におけるネット遊びの見守り・指導活動およびCISS利用
- C) 他の地域におけるネット遊びの見守り・指導活動およびCISS利用
- D) CISS関連設備の将来利用に関する検討
- E) 評価作業

### 主な結果

- ・ 昨年度開発したCISS1版に機能追加等を行いCISS2版、CISS3版と2度の改修を完了させた。
- ・ 高崎市と協定書を締結し、「高崎市子どものインターネット利用見守り・指導・啓発事業」（「以下、高崎市連携事業」）として高崎市教育委員会、学校、市民インストラクター、下田プロジェクトなど関係者が連携しての活動を実践した。
- ・ 高崎市連携事業においてネットモニタリングを進め、教育委員会や学校への情報提供を通して、生徒指導案件への対応を行なった。
- ・ ネットモニタリングから発見された生徒指導案件の整理・分類を行なった。

### 3. 研究開発実施の具体的内容

#### (1) 研究開発目標

子どものインターネット利用について、見守り、注意し、指導することのできる能力＝ペアレンタル コントロール能力をもった人材の養成をめざす。

また、その種の人たちの市民活動を支援するための情報通信システム（CISS=Civil Instructor Support System）の開発・運用を行い、地域において子育て教育に関わる人たち（PTA、教員など）による子どものネット利用問題解決のための仕組み（例えば生徒のネット利用指導システムなど）づくりを進める。

#### (2) 実施方法・実施内容

##### A) CISS2版、3版の開発

前年度のCISS開発においては、子どものネット遊び（プロフ、学校裏サイト等）に関する情報を記録し、共有するための基礎的なデータベースシステムを開発し（CISS 1 版）、会員専用サイトとして運用をはじめた。また、CISS 1 版を用いてサイトモニタリング（ネットの見守り）やデータベース入力を行ってきた。

本年度ではCISS 1 版の運用から出された改善点をもとに、機能追加や利便性の向上を図りながら開発を進めた。具体的には、以下のように2度のCISS改修を完了させた。

##### CISS2版開発（21年4月～9月）

###### 主な開発項目

- ・ 調査票種別の拡張（「裏サイト」「プロフ」の2種に「ホームペ」「ケータイゲームサイト」を追加）
- ・ 簡易登録（従来の調査票フォーマットを大幅に簡略化）の機能追加
- ・ 市民インストラクター（ボランティア）、学校関係者などCISS利用者が交流・意見交換するための掲示板開設
- ・ そのほか、各機能の利便性向上

##### CISS3版開発（21年10月～22年1月）

###### 主な開発項目

- ・ データベース検索（地域、学校単位など）機能の追加
- ・ データベース閲覧時の利便性向上
- ・ そのほか、各機能の利便性向上

最終更新日	都道府県	学校名	サイト名	サイトURL	種類	有害度	履歴
2010/03/17 13:54	群馬県	高崎市立 中学校卒業生	.	http://pr.cgboy.com...	プロフ	高	6
2010/03/17 11:11	群馬県	高崎市立 中学校	breut.	http://pr.cgboy.com...	プロフ	高	3
2010/03/12 15:13	群馬県	高崎市立 中学校		http://pr.cgboy.com...	プロフ	高	4
2010/03/12 11:37	群馬県	高崎市立 中学校	Forever an m...	http://pr.cgboy.com...	プロフ	高	1
2010/03/10 10:50	群馬県	高崎市立 中学校	== ちゅうぽ	http://pr.cgboy.com...	プロフ	高	5
2010/03/10 10:19	群馬県	高崎市立 中学校	== 新井	http://pr.cgboy.com...	プロフ	高	2
2010/03/09 15:00	群馬県	高崎市立 中学校		http://pr.cgboy.com...	プロフ	高	12
2010/03/08 15:50	群馬県	高崎市立 中学校	== 恋する乙女 ==	http://pr.cgboy.com...	プロフ	高	3
2010/03/08 13:50	群馬県	高崎市立 中学校		http://pr.cgboy.com...	プロフ	高	3
2010/03/04 15:09	群馬県	高崎市立 中学校		http://pr.cgboy.com...	プロフ	高	1

図1：CISS3版データベーストップページ

上記のような開発と並行し、CISSユーザー（市民インストラクター、教育委員会、学校関係者など）との利用手続きを進め、各種の機関においてCISSのデータベースや掲示板の利用を開始した。

#### B) 高崎市におけるネット遊びの見守り・指導活動およびCISS利用

本年度の計画では、群馬県高崎市との協働によるネットの見守り活動が中核的な取り組みであった。CISSの具体的な活用、実証実験として、本年度より群馬県高崎市を中心に、CISSの利用をはじめ、下田プロジェクトと高崎市教育委員会（高崎市教委）、学校、市民インストラクターとの協働事業を進めてきた。

昨年度からの高崎市教委との合意をもとに、21年8月に「高崎市子どものインターネット利用見守り・指導・啓発事業」の協定書を締結。ここでCISS利用による情報共有とネットの見守り・指導活動を推進すること、その中での個人情報（生徒情報）の取扱い等に関する取決めを行なった。

具体的なネットの見守り活動の展開にあたっては、高崎市内の中学校2校（モデル校）を選定し、本年度においてはその2校におけるネット遊びや発信内容の状況を中心にモニタリングを進めることを取り決めた。モデル校との協働において、次表のような実践を行なった。

表1：21年度モデル校との実施事業

	内容	実施主体
1	生徒のインターネット利用に関するアンケート調査の実施	モデル校
2	ネットの見守り、CISSデータベース入力	下田PJ
3	下田プロジェクトからモデル校への報告（定期、緊急）	下田PJ
4	モデル校から下田プロジェクトへの要請（要注意サイト、生徒など）	モデル校
5	モデル校と下田プロジェクトとの協議 （生徒指導の方法論など）	モデル校 下田PJ
6	セミナー、講習会等啓発活動の実施	モデル校

上記実施事項のうち、2～5については具体的に次のような内容を検討・実施した。

- ① 下田プロジェクト（青少年メディア研究協会）によるプロフ、裏サイト等についてのモニタリングおよびCISSデータベースへの入力。CISS用の調査票を使用し、ネットの見守り情報（要注意のサイト等）の整理および報告（下図参照）。
- ② ネットの見守り情報に関する学校（校長、生徒指導担当等）との協議。生徒のキャラクターなど、ネット上での発信の様子と学校現場での様子からすり合わせを行なう。
- ③ 協議の内容をふまえ、指導内容について判断。  
（特に緊急を要すると判断された生徒指導案件については「指導」、緊急性が高くない場合は「見守り」など）

①において、下田プロジェクトから提供する情報として、特に注意を要するようなサイト（個人）についてのレポートに加え、ネット上からわかるソーシャルグラフ（人間関係図）を提供し、生徒指導に関連する情報としてモデル校にて活用された。

ソーシャルグラフは、下図のような基本的なモニタリングによる情報収集から派生して行なうネットの見守り活動の1つであり、サイト間のリンクなど、ネット上でのつながりに着目しながらそのサイトを通じて発信者（主に子ども）がどのような人間関係を築いているのかを把握するための試みとして実践した。

特にモデル校においては、ネットの見守り活動から整理したソーシャルグラフと学校現場で教師が把握している生徒の様子とのすり合わせを行い、生徒理解や状況把握を補強するためのツールとして、その活用を行なった。



写真1：ネットモニタリングの様子

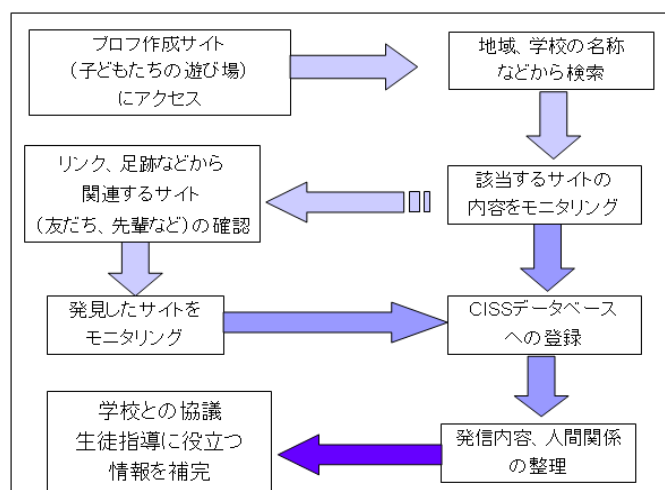


図2：CISSを用いた基本的なモニタリングのフロー

また、モデル校での取組状況について、高崎市教委と会議（担当者会議、関係者会議）を行い進捗状況や成果・課題について協議した。22年1月28日には、高崎市での取組をもとに中間報告会を開催し、RISTEX関係者や評価委員会むけにその成果発表を行なった。

#### C) 他地域におけるネット遊びの見守り・指導活動およびCISS利用

本年度では先述のように高崎市でのCISS利用実験を中心に進めてきたが、以下に記すように、そのほかの地域や機関とも連携し、「ネットの見守り・指導活動」の実施・検討を進めた。

表2：CISS実験候補地との取組内容

機関名	内容
群馬県教育委員会	CISS利用、ネットの見守りに関する情報交換 ネットパトロール協力校への情報提供 生徒指導案件への対応
京都市教育委員会	CISS利用、ネットの見守りに関する情報交換
広島市教育委員会	CISS利用、ネットの見守りに関する情報交換
新潟市教育委員会	ネットの見守りに関する情報交換、CISS利用および下田プロジェクトとの協働に関する検討
埼玉県	市民インストラクター養成、ネットの見守り活動に関する検討
埼玉県内の中学校	CISS利用、ネットの見守りに関する情報交換、生徒指導案件への対応、生徒の指導または見守り

#### D) CISS関連設備の将来利用に関する検討

本プロジェクトにおける、CISS関連設備の将来的運用、またネットの見守り活動で培ったノウハウの活用について、関連した事業を行なう団体・企業との検討を行なった。

## E) 評価作業

上記に示した本年度の取組について、評価委員会による評価作業を行なった。

評価委員として、阿部圭一教授（愛知工業大学・情報科学部）、黒須俊夫教授（群馬大学・社会情報学部）、三好仁司視学官（文部科学省初等・中等教育局）からの協力をいただく承諾を得た。

実際の評価作業にあたっては、平成22年1月28日に開催した中間報告会において阿部教授、黒須教授に参加いただき、そこでの質疑応答や講評などをもとに評価内容についてまとめた。

また三好視学官からは、中間報告会以降、資料等を持参しての説明・報告を行った。

（評価内容について、別添資料を参照）

## (3) 研究開発結果・成果

21年度は、CISSの実証実験に大きな前進を見た。これまで実験候補地を群馬県内外で探索してきたが、本年度より高崎市に絞り込み、協定を結び連携を図ることができた。また実証実験の中心を高崎市に定めたことで、奈良市、京都市、広島市などとの協力関係の整理ができた（図3参照）。青少年メディア研究協会（下田PJ）と高崎市との間で事業連携および個人情報保護のための協定書を締結。CISSデータベースをもとに生徒指導を行なうこともできた。以下、高崎市での実証実験から得られた成果について述べる。



図3：CISSユーザー層

### 【ネット遊びに関する情報共有】

高崎市教委、モデル校、下田PJによるネットの見守り活動においては、子どものネット遊びについての実態把握とそれに対する対応を実践的に行なった。それらの実践をふまえ、平成22年1月28日に本事業に関する中間報告会を行ったが、そこでは関係者間（とくに学校

現場) では次のような成果があったという合意が得られた。

- ・ 生徒のネット遊び(学校裏サイト、プロフ等)に関する関係者間での情報共有が実現された。
- ・ ネット上での発信からわかる生徒の本音、様子について実態把握ができた。
- ・ ネット遊びから生徒がつながっている学校内外の人間関係について、補完的な情報が得られた。
- ・ ネットのトラブルでの生徒指導や大人と危険な関係の未然阻止ができた。

子どものネット遊びに関する実態把握、情報共有といった点を中心に、本年度ではネットの見守り活動とCISS利用の成果が得られたと考えられる。ネットの見守りに関する具体的な有効性について、次から述べていく。

### 【CISSデータベースの蓄積情報】

本年度より、CISSを活用したネットの見守り活動を本格的に取り組んできたが、その実践から高崎市やそのほかの実験候補地を中心に、全体で約6,000件のサイト(プロフ、ホームぺ、ケータイゲームサイトなど)の情報収集を行なうことができた。

関係者(教育委員会、学校など)は、CISSサイトを利用することにより、子どもたちが発信しているネット遊びに関する情報共有が実現された。

このCISSを使った情報共有から、データベース内から情報を取り出し、地域内の中学校校長同士で心配な発信について情報交換するなどの試みがはじまるなど、実態把握に関する活動を促すこともできた。

### 【生徒指導案件についての実態把握・情報交換】

上述のとおり、CISSの利用を通じて子どものネット遊びに関する見守り活動を進めてきたが、そのなかからとりわけ注意が必要であるとAMSにて判断し、市教委またはモデル校に報告を行なった生徒は、21年度においては31名であった。

最終的に、当該学校にて緊急に指導等が必要か判断された案件についてはその後対応がされ、緊急を要する案件ではないとされた場合はより注意深く見守るなどの方針についてAMSと協議し、相互に情報交換を行なった。

個別の概要については次の表のとおりである。

表3：ネットの見守り活動から発信・対応された生徒指導案件の一例

	分類	生徒情報	概要
1	万引き	中学2年女子	ケータイゲームサイト上で万引きや喫煙をしたことがわかる内容が発信されていた。
2	中傷	中学2年女子 複数人	学校裏サイトおよび「リアル」において、生徒同士のネット上での集中的な中傷が発信された。
3	中傷	中学2年女子 複数人	ケータイゲームサイトの日記などで、教師に対しての集中的な中傷や愚痴が発信されていた。
4	出合い	中学2年女子	プロフ上にあるゲストブックにおいて生徒と成人男性が実際に出会ってしまうと推測されるやりとりがされていた。

5	自傷行為	中学2年女子	「リアル」において、リストカットしたと推測される発信がされた。
6	授業不参加	小学6年女子	プロフのゲストブックを使って他校生徒とやりとりを行い、学校に行かずに一緒に遊ぶことを計画していた。

【生徒指導におけるソーシャルグラフの有用性】

表3のような緊急を要するような案件についての情報交換と並行し、子どもたちがネット上でのどのような人とつながっているのか、それを把握するためのソーシャルグラフ(図3参照)の活用に関する試みを進めた。ネットの見守り活動からわかる生徒のソーシャルグラフと学校現場での様子とのすり合わせを通して、問題行動が起こる前の生徒理解の面において、有効な情報となり得るとい関係者間での議論がなされた。

ソーシャルグラフの有用性に関して、特に学校関係者を中心に注目されたのは、学校外の人間とのつながりが把握できるという点である。ネット遊びをする子どもにとっては、ネット遊びは学校内外の(大人も含めて)あらゆる人たちとつながりを持ち、やりとりすることができるツールである。そこでは友達との関係を深めるといった使われ方もある一方で、危ない大人と出会ってしまうというように悪い人間関係をつくることも、やろうと思えばできてしまう。しかし、親や教師からはそのようなつながりを把握することは大変に難しいというのが実状であった。

ソーシャルグラフの試みは、それほどリスクが大きい人間関係も含め、学校現場での様子だけでは把握しきれない生徒の人間関係について、ネットの面からその情報のある程度補完できるという評価となっている。

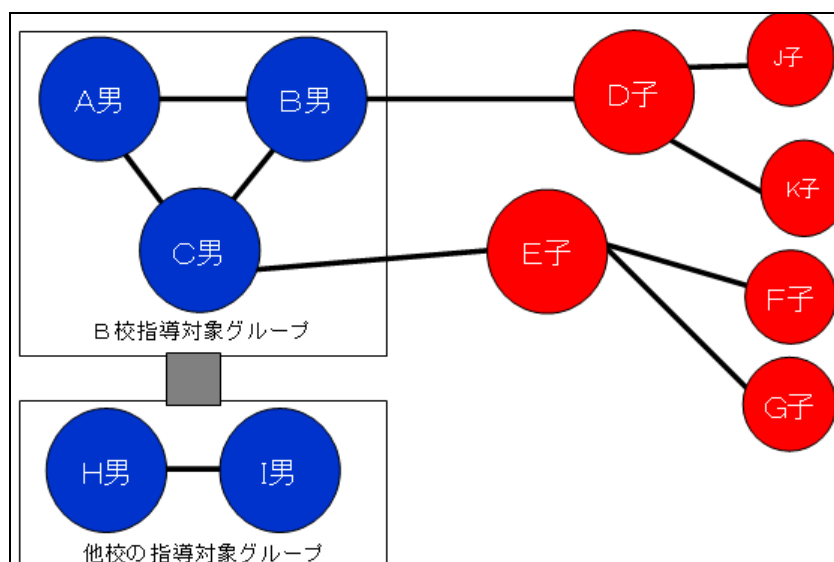


図4：ソーシャルグラフの例

本年度においては、ネット遊びに関する情報共有、その情報の生徒指導への活用、ソーシャルグラフの整理、といった成果を得てきた。その成果を教育委員会や教員、市民イン

ストラクターに使ってもらえるように、図3に示すような形でCISSユーザーとの連携を図っていくことを計画している

たとえば高崎市（図3：コラボレーションユーザー）とは、個人情報の扱いを取り決めながら、ネットの見守り活動や関連する啓発活動について、協働してその実践を進めてきた。そこで得られた成果は、ネットの見守り活動や市民インストラクターの養成に関心をもち、実行する地域（図3：部分的情報共有ユーザー、情報サービス提供ユーザー）とのネットワーク作りのため、活用していくことを計画している。

教育関係者を中心に、今後は市民インストラクターに使ってもらうコンテンツ作りの面でも生徒指導成果の活用をめざす。

【評価作業について】

実施内容でふれたとおり、主に高崎市での取組とその成果について、評価委員会による評価作業を行なった。

そこでは、「CISSのような見守りシステムが必要であり、かつ役に立つものであると思った」などの意見・評価をいただくことができた（詳細について、別添資料を参照）。

(4) 開催したワークショップ、シンポジウム、会議等の活動

年月日	名称	場所	概要
21年4月17日	CISS3版開発打合せ	大宮市	CISS2版に関する仕様検討
21年5月18日	高崎市連携事業に関する会議	高崎市役所	ネットの見守り・指導・啓発における高崎市との連携に関する検討
21年5月27日	CISS2版開発打合せ	AMS事務所	CISS2版に関する仕様検討
21年6月10日	高知県 CISS 利用の打合せ	高知市	高知県市民グループとのCISSを活用したネットの見守り・指導についての検討
21年6月30日	京都市 CISS 利用の打合せ	京都市教育委員会	京都市教育委員会とのCISSを活用したネットの見守りについての検討
21年7月4日	ぐんま子どもセーフネット活動委員会シンポジウム	高崎市	人気ゲームサイト等に関する市民インストラクターらによる調査報告
21年7月14日	高崎市子どものインターネット利用見守り・指導・啓発事業会議	高崎市役所	高崎市との連携事業における具体的内容、手続きに関する確認

21年7月26日	広島市グレードアップ講座	広島市	広島市電子メディアインストラクターのスキルアップ講座、CISS利用に関する検討
21年8月10日	加賀市CISS利用の打合せ	加賀市	加賀市市民グループとのCISSを活用したネットの見守りについての検討
21年8月27日	高崎市モデル校教員研修	モデル校	教員向け講習会、ワークショップ
21年9月13日	社会情報学会	新潟大学	CISS利用とネットの見守り・指導活動に関する発表
21年9月28日	高崎市モデル校ミーティング	モデル校	ネットモニタリング情報に関する確認、指導方法の検討
21年10月6日	京都市養成講座CISS利用の打合せ	京都市	市民インストラクターの養成CISS利用に関する意見交換
21年10月21日	高崎市モデル校ミーティング	モデル校	ネットモニタリング情報に関する確認、指導方法の検討
21年11月9日	高崎市教委担当者打合せ	高崎市役所	モデル校の取組に関する進捗確認、課題整理
21年11月11日	CISS3版開発打合せ	東京	CISS3版の仕様検討
21年11月14日	全国市民会議	京都市	全国の市民インストラクターによる活動報告、情報交換 高崎市、京都市、広島市のCISS利用の取組紹介
21年11月19日	高崎市モデル校ミーティング	モデル校	ネットモニタリング情報に関する確認、指導方法の検討
21年12月11日	ピットクルー社ミーティング	東京	ネットモニタリング事業に関する情報交換
22年1月4日	高崎市担当者会議	高崎市役所	高崎市での取組についての進捗報告、課題整理
22年1月14日	第1回高崎市関係者会議	高崎市役所	高崎市での取組についての進捗報告、課題整理
22年1月28日	中間報告会	高崎市役所	高崎市での取組、CISS利用実績に関して、評価委員会およびRISTEXにむけて報告
22年2月12日	高崎市生徒指導主任会議	高崎市役所	高崎市・中学校生徒指導担当教員むけにCISS利用、モデル校での実績等について説明、情報交換
22年2月12日	新潟市生徒指導主任会議	新潟市	新潟市・中学校生徒指導担当教員むけにCISS利用、モデル校での

			実績等について説明・情報交換
22年2月26日	高崎市モデル校 ミーティング	モデル校	ネットモニタリング情報に関する確認、次年度への課題整理
22年3月3日	CISS4版開発 打合せ		CISS4版の仕様検討 CISS利用実績の説明
22年3月4日	高崎市モデル校 ミーティング	モデル校	ネットモニタリング事業に関する確認、次年度への課題整理
22年3月4日	新潟市教育委員会 ミーティング	AMS 事務所	新潟市、高崎市でのインターネット利用における生徒指導に関する情報交換

#### (5) 研究開発実施におけるその他の活動

これまで下田PJにおいては、CISSを活用した、教育関係者との連携による子どものネット発信の見守り・指導活動が今年度の中心的な活動であった。

その一方で、市民インストラクターや保護者との取り組みとして、本年度では主に群馬県の市民インストラクターと連携し、子どもが遊んでいるサイト、またそれを運営している業者について、親や教師の立場から評価をする試みを開始した。

#### 4. 研究開発成果の活用・展開に向けた状況

ネットパトロール事業を行なっている民間企業との協働について、検討を開始した。

また、市民インストラクター養成講座プログラム開発と市民インストラクター活動への活用に関する検討をはじめた。

#### 5. 研究開発実施体制

##### (1) 下田グループ

- ① リーダー名 下田博次（青少年メディア研究協会、理事長）
- ② 実施項目
  - A) CISS2版、3版の開発
  - B) 高崎市におけるネット遊びの見守り・指導活動およびCISS利用
  - C) 他の地域におけるネット遊びの見守り・指導活動およびCISS利用
  - D) CISS関連設備の将来利用に関する検討
  - E) 評価作業

#### 6. 研究開発実施者

##### ① 下田グループ

氏名	所属	役職
下田博次	青少年メディア研究協会	理事長
片山雄介	青少年メディア研究協会	企画調査員
加藤千枝	青少年メディア研究協会	企画調査員
小川真佐子	青少年メディア研究協会	企画調査員
二本柳雄樹	青少年メディア研究協会	企画調査員
宮川隆	青少年メディア研究協会	事務局長

7. 研究開発成果の発表・発信状況、アウトリーチ活動など

(1) 論文発表

(国内誌 0件、国際誌 0件)

(2) 口頭発表 (国際学会発表及び主要な国内学会発表)

①招待講演 (国内会議 1件、国際会議 0件)

平成22年1月22日

平成21年度 群馬大学社会情報学部シンポジウム「情報社会のいじめ問題」

②口頭講演 (国内会議 0件、国際会議 0件)

③ポスター発表 (国内会議 1件、国際会議 0件)

平成22年3月16日 第3回「犯罪からの子どもの安全」シンポジウム

(3) 新聞報道・投稿、受賞

①新聞報道・投稿

21年11月15日

京都新聞朝刊「子の携帯 閲覧制限を 有害サイトで全国市民会議」

21年12月29日

読売新聞朝刊「親は知らない PART 4 中」

②受賞

(4) その他の発表・発信状況、アウトリーチ活動など

- ・学習情報研究「子どもケータイーここまで来た情報モラル指導」、(財)学習ソフトウェア情報研究センター、21年7月10日
- ・CISS紹介ビデオ (22年3月制作)